

堺雅人さん出演のTVCMシリーズ『マイホームマン』の第7弾が完成！

娘のマイホームへの思いを知った父・家内守が、 再び“かいじゅう”へ立ち向かう

新TVCM「参観日篇」(30秒、15秒)を2026年2月2日(月)から放送開始

株式会社オープンハウスグループ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福岡良介、以下「当社」)は、堺雅人さんを起用したTVCMシリーズ『マイホームマン』の第7弾「参観日篇」(30秒、15秒)以下「本CM」を、2026年2月2日(月)より放送開始いたします。『マイホームマン』シリーズのサイトにて、CM本編の他、CM撮影の様子を収録したメイキング映像等も公開いたします。また、同日より新CM公開記念として、CMオリジナルグッズが当たるSNSキャンペーンも開催いたします。



堺さん演じるサラリーマン“家内守”(やないまもる)が、夢のマイホームを守るため、突然街に現れた“かいじゅう”(怪獣)とバツを使って巨大化し戦うTVCMシリーズ『マイホームマン』。

第7弾となる本CMでは、家内守の娘である“家内ちか”のマイホームへの思いが描かれています。ちかの授業参観のため学校を訪れると、家内守が巨大化することは既に校内で知れ渡っており、ちかのクラスメートたちは心無い言葉を投げかけます。いたたまれなくなった家内守が教室を出ようとする、ちかが立ち上がり、マイホームへの思いと、そんなマイホームを懸命に守る父への思いを明かします。そこへ再び現れた“かいじゅう”。マイホームを通じて絆が強くなった父と娘のやりとりと、娘の思いを背負って“かいじゅう”へ立ち向かう家内守のこれまで以上に勇ましい「コノヤロー！！」に注目です。

また、本CMで教師役を演じているのは、お笑いトリオ「ロバート」の秋山竜次さん。前作に続いての出演となった秋山さんですが、前作とは大胆にイメージを変え、真ん中分けの長髪スタイルで教師役に。「ロン毛イコール教師というイメージが強いので、ロン毛ではあるけれど、逆にそのイメージからできるだけ離れるように、いろんな注意を払いながら演じました」と、教壇での姿勢や声色など細かな部分までこだわって役作りされていた秋山さん。「CMの第一声は秋山さんから始まるんです。秋山さんの空気が(CM全体を)支配しているんです」と堺さんも絶賛の秋山先生の演技にもご注目ください。



新TVCM「参観日篇」ストーリー

娘・家内ちかの授業参観日。教室の中は担任が「授業始めまーす」と声をかけてもざわざわと騒がしい。「意外とちっちゃ！」「どうやって巨大化するんですか？」という男子生徒の声が、自分へ向けられたものだと思した家内守は、生徒たちのざわめきが増す中、後方に並んだ保護者たちからの視線をかわすように教室を出ようとする。その時、「あのさ…」と声を上げた娘のちか。「本気で守りたいものってある？うちにはある。それが今の家。みんなでいろいろ意見を出し合って、今の家ができたの。家族の思いが詰まった家なの…」。思いがけない娘の告白に足を止め、驚きの表情を浮かべながらも、娘から目を離すことができない家内守。生徒たちはおろか、保護者たちも静まり返り、ちかの言葉に耳を傾ける。「そしてその家を命懸けで守ってくれてるの。その見た目のさえないパパが…」と、ちかが父親へ視線を向けると、娘の真意を悟り動揺を隠せない家内守。するとその時、響き渡るいななきとともに、街に“かいじゅう”が現れる。生徒、保護者、そして娘のちか。教室中の全員が一斉に家内守へ視線を注ぐ。皆の思いを受け取った家内守は意を決して力強く頷くと、いざ“かいじゅう”のもとへ。「コノヤロー！！」と立ち向かう家内守の表情は、いつになく勇ましく、そして自信と誇りに満ちている。



撮影エピソード

●塚さんと秋山さんは2度目の共演で初対面

本CMで2度目の共演となった塚さんと秋山さんですが、前作はお二人の撮影日が異なっていたため、今回の撮影でようやく初対面。「ずっとお会いしたかったです」と塚さんが秋山さんへ伝えると、街並みを再現したミニチュアのビルや家が立ち並ぶセットを前に、「塚さんとこのセット！見ていたCMの中に飛び込めちゃった嬉しさ！」と秋山さんも興奮を隠せない様子。念願叶っての共演となったお二人の熱量の高い撮影となりました。35人の生徒役の学生たちを前に、教師役として熱演する秋山さんの様子を見た塚さんは、「教壇に立った時の姿勢も声色も細かく作っている！すごいな～」と感心。「CMの第一声は秋山さんから始まるんです。秋山さんの空気が(CM全体を)支配しているんです」と話してくれました。

●塚さんは便利地、好立地派！

撮影終了後、塚さんと秋山さんに『マイホームマン』シリーズのテーマである「家が、家族を強くする。」にちなみ、家を建てる上で欠かせない条件やポイントを聞いてみました。「カプセルホテルみたいな空間が好きなんです。狭くて集中できる場所が欲しいですね。日焼けサロンのマシンに入っている時もすぐ落ちてくんです。圧迫されたいです」と明かしてくれた秋山さん。「圧迫されたい！？」と驚きながらも、間取り重視の秋山さんに対し、「部屋全体を(飛行機の)ビジネスクラス風にするのはどう？」と塚さんが提案すると、「それもいい！ちょっと仕切りがあって…」と話はどんどん盛り上がります。一方塚さんは、「家もそうだけど、街がどんなところか。お気に入り八百屋さんがあるだけで僕はすごく幸せになるんです。(私は)便利地、好立地派です！」とこだわりポイントを教えてくれました。

●お二人ともに“参観日×埴輪(はにわ)”の思い出が！

新TVCM「参観日篇」にちなみ、お二人の参観日にまつわる思い出を聞いてみると、秋山さんが、「図画工作で埴輪を作る授業があって、みんなキャラクターの埴輪を作ってる中で、一体だけ“マジ埴輪”があったんです。それにツボっちゃって、悪気なくツッコんだら(その埴輪を作った)女の子が泣いちゃって…。その次の日がたまたま授業参観日で、母ちゃんも来ているところで、その子の友達が先生に「昨日A君が～」という埴輪の件が書かれた手紙を渡して…。そこでは「A君」というのが自分だと母親には)バレなかったんですけど、数日後、黙ってることに耐えられなくて白状したら、母ちゃんにプチギレられました」という苦い思い出を話してくれました。すると、秋山さんの話を聞いていた塚さんが、ハッと表情を変え、「自分のこのように今思い出したよ。僕も埴輪を作る授業があって…」と話し始めます。作る工程で失敗してしまった塚さんの埴輪は、ひときわ小さな形で焼き上がったそうで、「参観日に自分の埴輪一体だけ小さいのが並べられたんだ。恥ずかしかった！」と塚さん。それには秋山さんも「なんで同じようなエピソードを持っているんだ！」とびっくり。「なんでお互いに埴輪のエピソードがあるんだ！」とお二人で大爆笑されていました。

TVCM概要

TVCMタイプ	: 「参観日篇」(30秒、15秒)
放送開始	: 2026年2月2日(月)
放送エリア	: 関東地区、関西地区、中京地区、福岡県
出演者	: 家内守／堺雅人 アッキー先生／秋山竜次(ロバート) かいじゅう／怪獣 家内ちか／藤本唯千夏

《スタッフリスト》

【Agency】

Creative Director／Planner	: HAKUHODO	吉兼啓介
Creative Director／Copy Writer	: Tang	尾形真理子
Art Director	: HAKUHODO	川辺圭

【Staff】

Producer	: Headlight	麻生峻司
Production Manager	: Headlight	桑田恭行
Director	: The Directors Guild	小島淳平
Camera	: HARVEST	岡村良憲
Light	: Freelance	高倉進
Art Designer	: STARBOY	三ツ泉貴幸
Miniature set	: Marbling	木場太郎
Stylist(堺雅人)	: Diamond snap	高橋毅
Hair Make(堺雅人)	: maroon brand	稲垣亮式
Stylist(秋山竜次)	: Freelance	古澤愛
Hair Make(秋山竜次)	: Freelance	伊藤有香
Stylist(藤本唯千夏)	: AURA	TATSU
造形	: 自由廊	小松義夫
Casting	: MC One	増田恵子
Casting	: RAPALLO	元川益暢
Offline	: Freelance	小暮好成
Online	: Freelance	泉陽子
MA	: Freelance	小松徹
SE	: haon	田中宏峰
Music	: 愛印	山田勝也
Graphic Photographer	: M+W	正田真弘
Retouch	: VIta	佐藤加奈子

堺雅人(さかい まさと) プロフィール

1973年10月14日生まれ、宮崎県出身。O型。1992年に早稲田大学演劇研究会を母体にした劇団『東京オレンジ』の旗揚げに参加し、看板俳優として活躍。08年、NHK大河ドラマ『篤姫』で徳川家定役を演じ、人気を博す。同年、映画『アフタースクール』で『第51回ブルーリボン賞』助演男優賞を受賞。以降、映画『南極料理人』(09年)、ドラマ『ジョーカー 許されざる捜査官』(10年)、映画『武士の家計簿』(10年)、ドラマ『リーガル・ハイ』シリーズ(12年～14年)、映画『鍵泥棒のメソッド』(12年)、ドラマ『大奥 有功・家光篇』(12年)、映画『大奥 右衛門左・綱吉篇』(12年)、ドラマ『半沢直樹』シリーズ(13年、20年)、ドラマ『Dr.倫太郎』(15年)などで主演を務める。16年、NHK大河ドラマ『真田丸』で主人公の真田信繁を演じる。18年、映画『プーと大人になった僕』のクリストファー・ロビン役で実写映画の吹替声優に初挑戦。23年、ドラマ『VIVANT』が話題を集める。

秋山竜次(あきやま りゅうじ) プロフィール

1978年生まれ。福岡県出身。吉本興業所属。

1998年 山本博、馬場裕之と共にお笑いトリオ「ロバート」を結成し、2011年には「キングオブコント」(TBS系)で優勝を果たした。

梅宮辰夫になりきる“体モノマネ”を得意とする。バラエティ番組、ドラマ、映画、TVCMなどに多数出演し、東京2020オリンピックでは聖火ランナーを務めるなど幅広く活躍。

2021年にはNetflixオリジナルシリーズ「クリエイターズ・ファイル GOLD」が全世界に配信された他、2022年には「クリエイターズ・ファイル」の総クリエイター数が100に達したことを記念した、全国ライブツアーを開催した。

< 企業概要 >

商号 株式会社オープンハウスグループ

本社所在地 〒100-7020 東京都千代田区丸の内 2-7-2 JPタワー20階(総合受付)・21階

創業 1997年 9月

代表者 代表取締役社長 福岡良介

資本金 202億3,549万円

従業員数(連結)6,620名(2025年9月末時点)

株式会社オープンハウスグループに関するお問い合わせ

株式会社オープンハウスグループ 広報 和泉

TEL:03-6213-0783 MAIL:pr@openhouse-group.com